

「第5次戸田市生涯学習推進計画（案）」についてのご意見に対する回答

* 貴重なご意見ありがとうございました *

案 件 名 第5次戸田市生涯学習推進計画（案）について
意見募集期間 令和3年2月1日（月）から令和3年3月2日（火）まで

パブリック・コメントとしてご意見を募集した結果、1名の方から7件のご意見をいただきました。いただいたご意見の内容と、それに対する市の考え方を次のとおり公表いたします。

【ご意見の概要とご意見に対する市の考え方】

	ご意見の内容	市からの回答（対応）
1	<u>p.14 計画のポイントについて</u> 戸田市版リカレント教育の推進をポイントにするのであれば、計画体系（p.17）でも基本方針と施策、方策が必要ではないか。	計画のポイントは、計画体系にとらわれず、計画全体の中で重点的な取組をまとめたものです。リカレント教育については、様々な方針・施策にまたがって展開するものとなりますが、あえて計画体系の中の方策にも盛り込んだものでございます。
2	<u>p.6～8 これまでの実績について</u> 生涯学習課の範疇としている事業や市民大学認定講座は、ほとんどが他の所管部署の事業、または市民活動に関するものであり、生涯学習課としての事業が貧弱である。	生涯学習に関する事業は、生涯学習課だけではなく、全庁的な取組として推進しております。多様な市民のニーズに応えるべく、市全体で生涯学習の推進が図れるよう、今後も全庁的に取り組んでまいります。
3	<u>p.22 学校教育との重複部分の削除について</u> 児童生徒に関する部分についてもっと整理し、学校教育との重複を削除すべきではないか。	生涯学習は、すべての世代において行われる生涯を通じた学習活動です。本計画では、ライフステージに応じた学習の在り方を体系的に示すためにも、学校教育のなかで地域や社会とのつながりを意識しながら取り組む必要があると考えられるものについて包括的に記載したものでございます。

		今後も、社会教育と学校教育が有機的な連携をし、生涯学習の推進を図ってまいります。
4	<u>学習機会の提供方法について</u> 学習時間の捻出は困難なことであるため、市民にとって便利な場所・時間に学びの場を創設し、学習の出前を実施するべきである。	「まちづくり出前講座」や「人材の森」では、市民のみなさんが希望する学習内容や場所に合わせて、講師を派遣する取組も行っています。学習に取組みやすい環境づくりは大変重要な視点であるため、オンラインでの講座開催や世代ごとのニーズに応じた講座の開催時間等について検討してまいります。
5	<u>段階的な講座の開催について</u> 過去の講座は、難易度がアップする体系がなく1回限りに終始し、フォローアップがない。初歩から段階的に、中級・上級と学習意欲に沿った仕組が必要である。	学習内容をより深めていくために、段階的な講座の開催は有効であると考えられるため、頂いた御意見を参考に、今後の講座設定の中で検討してまいります。
6	<u>大学連携講座</u> 関連のない講座の連続ではなく、同一テーマの4回連続講座にする工夫が必要である。	現状でも、青山学院大学連携講座では「東京オリンピックのころを考える」（令和元年度・全4回）、岐阜女子大学連携講座では「岐阜の魅力学ぶ（歴史と観光）」（令和2年度・全2回）など、全体のテーマに基づいて各回の講座内容を決めておりますが、より講座のテーマや関連性を感じていただけるような工夫をしてまいります。
7	<u>市民大学の履修コースの創設について</u> 1つのテーマについて年間を通じて学習できる履修コースの創設を希望する。学習者同士が知り合うきっかけとなり、学習者間の交流が醸成され、市民活動へ発展する可能性がある。	現在の市民大学は、より多くの方にご参加いただけるよう、様々なテーマの講座を都度お申込みいただく形で実施しています。履修コースは学習者同士のつながりづくりや市民活動への発展の可能性も期待できることから、テーマを絞った講座や履修形態について、今後検討してまいります。